

昭和インターと発掘

『森下中田遺跡』

村民が願っていた昭和インターチェンジの建設が平成五年に決まった。インターチェンジ建設は、村で作る農作物輸送の利便性を高めるとともに工場の誘致等にもつながる大きな出来事だった。しかし、インターチェンジへつながる村道は幅が狭くアクセス道路として利用することは難しかった。そのため安全なバイパス道路をつくる必要があったが、工事予定地の字「森下中田」地区には遺跡があり、調査する必要があった。



▲昭和インターバイパス

そのための発掘調査が、平成七年～九年にかけて行われた。発掘調査では、古墳時代の地層から多くの竪穴式住居跡が発掘された。住居跡の広さは様々であり、縦横九×九メートルほどのものもあった。住居跡には、カマドや炉跡、食料の貯蔵のための穴の跡もあった。また、住

居跡からは土師器、杯、甕、高坏、壺等の多くの土器が出土した。さらに、鉄を加工するための鍛冶炉跡もあった。遺跡からは当時の生活様式を表すものが多く出土した。森下中田遺跡は五世紀から集落を営み始め、一時、榛名山からの火山灰で途絶える時期もあるが、十一世紀まで続いた集落であった。

昔から、河岸段丘下段の川額、森下地区には多くの古墳が存在していた。土地改良工事等により、多くの調査をしてきたが、古墳周辺では集落跡が発見されてこなかった。今回の森下中田遺跡が、森下地域における初めての集落を営む遺跡となった。古墳との関係性が注目された。

参考「森下中田遺跡」報告書



▲1つの居住跡から出土した40個を超える土器等の遺物

昭和村ボランティアガイドの会

理事 堤 義樹



地域包括支援センターだより

健康麻雀の開催日時を変更します

変更前

第2・4 **木** 曜日

午前9時～12時

変更後

第1・3・5 **木** 曜日

午後1時30分～4時30分

健康麻雀 活動の様子

健康麻雀は11月13日にスタートし、年内で計4回開催しました。毎回10名を越える方に参加いただいています。

麻雀と聞くと少し難しそうなイメージがありますが、初心者や女性の方も多く参加されています。今は上級者と初心者とテーブルを分けて実施しており、初心者は上級者に教えてもらいながら楽しく活動できています。

経験者や上級者はもちろん、初心者大歓迎ですのでご興味のある方は是非ご参加ください。



問合せ 地域包括支援センター ☎20-1126

